



NEWS

2015 No.292

7

全国整備工場の皆様へNGP 組合員 200 拠点がお届けするお役立ち情報

月号

第34回オートサービスショー 2015、開催 急変する自動車技術と 厳しさを増す市場環境に対応する 最新の機械工具・材料が一堂に

第34回オートサービスショー 2015 (主催: 日本自動車機械工具協会) が6月19～21日の3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催されました。

屋内会場として前回の東5・6ホールに東4ホールを加えた計3ホールを使用した今回は、出展者数が前回より42多い123社・団体、出展小間数が同じく272小間多い958小間へと大幅に増加しました。3日間の総来場者数も前回は3,390名を上回る36,557名となり、自動車業界全体の市場環境が厳しさを増す中で、他社との差別化を図り生き残るための手段となる機械工具や材料を求める姿が多く見られました。

その中で、車体修理業界の関係者から注目を集めていたのは水性塗料、そして引き出し鉸金ツールです。水性塗料は大手自動車メーカーによる系列ディーラーへの全面導入計画発表、特化則(特定化学物質障害予防規則)の強化に加え、技術者の人材不足に対応するための労働環境改善、近隣住民からの苦情発生予防といった観点からも、再び関心が高まっています。新製品を参考出品した国産塗料メーカーは特に、従来品に対する作業効率の高さを強く訴求しており、その実演やプレゼンテーションには多くの来場者が集まり注視していました。

引き出し鉸金ツールは、自動車保険等級制度改定を契機にニーズが増大した安価な自費修理へ対応する上で、必要不可欠となりつつあります。従来からのロード型に加え、アルミ合金や樹脂に対応するもの、IH(誘導加熱)を用い鋼板だけを短時間で暖めて凹みを引き出すタイプのペイントレスデントリペアツールも紹介され、来場者はその修理実演を興味深げに見つめていました。

3度目となる2015年度補助金の申請受

付が7月1～31日に実施されることとなったスキャンツールについても、各社から新機種が発表されました。その多くは大型ディスプレイとカメラ、Wi-Fiによる遠隔操作機能を備えたタブレット型で、故障診断のみに留まらず様々なアプリやテスター類と連携できます。

これらでは車両・顧客情報や撮影した写真を整備・修理履歴などと関連付け、タイムリーな入庫誘導を可能にしたり、消耗品の劣化を数値で計測しその結果を帳票に出力することで予防整備を提案しやすくするなど、入庫台数及び整備単価アップに役立つ機能が実装される見込みです。

そのほか、欧州車を中心に採用車種の拡大が進んでいる、地球温暖化係数が低い新冷媒・HFO-1234yfに対応したエアコンガス



IHを用いたペイントレスデントリペアツールの実演を間近で見つめる車体修理業界の関係者たち

チャージャー、パルス点灯式LEDヘッドライトに対応したヘッドライトテスターが出品されており、自動車技術の急激な変化にいち早く対応すべく、自動車アフターマーケットを支える機械工具も進化し続けている様子が見えがえしました。



塗料メーカーの中には水性塗料の新製品を従来型と比較し作業性の高さを実証するブースも



バッテリーテスターやイグニッションコイルテスターなどと連携可能なタブレット型スキャンツール



2種類のコンプレッサーオイルのみならずHFO-1234yfにも対応したエアコンガスチャージャー(中央)



主催者である機工協のブースではパルス点灯式LEDヘッドライトとそのテスターの存在を啓発

NGP協同組合、「NGPパーツ王」としてAmazonでリユース部品販売開始 初のBtoC向け販売を通じNGPリユース部品の 知名度向上・市場活性化を図ります

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合（長谷川利彦理事長）は7月6日より、総合オンラインストア・Amazon.co.jp内に「NGPパーツ王」のブランド名で出店するとともに、NGPリユース部品の出品・販売を開始しました。

同サイトには、100万点超に及ぶNGPリユース部品の在庫からまず50万点が出品され、その在庫情報はNGPのオンライン在庫共有システム「NGPシステム」と連動しリアルタイムで更新されます。これにより、同サイトを通じ初めて一般カーオーナーもNGPリユース部品を購入できるようになります。

発注されたNGPリユース部品は、その部品を生産したNGP組合員より発注主へ直接配送されます。ただし、ドア、ボンネット、バンパー、エンジンなど大物部品は個人宅へ配送できないため、その場合は最寄りの配送業者の支店止めとなります。

品質保証については、装着後に動作不良が発生した場合、購入した部品を認証工場・指定工場で資格を持つ整備士が取り付け、かつその整備士が故障診断した場合、さらに改造やモータースポーツでの使用など通常の使用範囲を逸脱していない場合に限り、返品可能としました。

このうちエンジン、トランスミッション、

ターボチャージャー、エアコンコンプレッサー、パワーステアリングベーンポンプ、スターター、オルタネーター、燃料噴射ポンプ、キャブレター、スロットルボディは商品出荷日より1ヵ月間、上記以外は商品到着後7日間返品を受け付けます。保証の対象は部品代のみで、工賃など付帯費用は対象外です。

NGP協同組合は同サイトへの出品開始を通じ販路を拡大するとともに、一般カーオーナーにおけるNGPリユース部品とその高い品質への知名度を高めることで、自動車リサイクル市場の活性化を図って参ります。

「NGPパーツ王」トップページ。「外装部品」「内装部品」「エンジン/周辺部品」「電装部品」「商品」「その他」計6つのカテゴリからNGPリユース部品を検索できる



「外装部品」カテゴリの出品ページ

全整協、「NGP廃車オークション」利用開始 整備事業者様への 「廃車買い取りサービス」ご提供を通じ 部品取り車両仕入れ強化による リユース部品供給拡大を目指します

全国自動車整備協業協同組合協議会（全整協、濱徹雄会長）は6月1日より、(株)NGP（長谷川利彦社長）が運営するオンライン廃車買い取りオークションサービス「NGP廃車オークション」の利用を開始しました。

全整協の会員組合・工場は自動車オークション会場より離れた地方に拠点を構えていることが少なくなく、使用済み自動車を陸送するだけでも多くの時間と費用が必要となります。かつ一般的な自動車オークションでは、出品手数料や成約手数料も支払わねばなりません。また、中古車としての市場価値が低い使用済み自動車は買い取り価格が低く、自動車オーク

ション経由でも中古車販売店へ直接売却しても収益にはつながりにくいのが実情です。

しかしNGP廃車オークションでは、全国約140社のNGP組合員が同サイト上に出品された使用済み自動車へ入札し、その買い取り価格を翌営業日までに出品者へ提示します。さらに、全国各地への引き取り対応を可能としているほか、事故車から車検切れ車、走行不能車、低年式車まで、年式や損傷の程度を問わず有償で使用済み自動車を買取ります。しかも出品手数料・成約手数料・陸送費は無料です。

使用済み自動車を出品するのは、全整協のWebサイト（<http://www.zenseikyoku.jp/>）より専用サイトに入り、自社の情報・車両情



NGP 廃車オークションへの出品を呼びかける全整協会員向けチラシ

報・車両画像を入力・添付するのみで、手続きは非常に簡単です。そして、成約した場合の買い取り金額はNGP本部より、出品した全整協会員組合・工場と精算されます。

(株)NGPではこの取り組みを通じ、全整協に属する整備事業者様へ手軽かつ効率的な廃車買い取りサービスをご提供するとともに、中古車輸出台数増加と事故件数減少によりますます困難となっている部品取り車両の仕入れ台数拡大を図り、より安価かつ高品質な自動車リサイクル部品の安定供給に努めて参ります。

第3期産学共同研究会の工場見学を実施

前後ランプを分解し使用素材別重量から 新品生産時のCO₂排出量を算出

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合（NGP協同組合、長谷川利彦理事長）及び富山県立大学、明治大学は6月20日、第3期目となる産学共同研究会を開始し、NGP組合員（株）マルトシ青木（青木勝幸社長、静岡県藤枝市）で見学研修を実施しました。

同日は冒頭、第1期研究会で明治大学理工・機械学部情報工学科設計システム研究室の岩崎誠和研究員を中心に調査した「自動車リサイクルパーツの環境負荷削減効果」の発表を行ないました。この調査結果は、2014年8月31日～9月3日にチェコ共和国のピルセンで開催された「ICDES2014 第3回設計工学に関する国際会議」でも講演しています。

また、同研究室の高橋颯太研究員を中心に第2期研究会で調査した「自動車解体工場調査に基づくリユース部品使用時の環境負荷削減効果」の発表も行ないました。この調査結果は、2014年9月17～19日に徳島大学で開催された「日本機械学会第24回設計工学・システム部門講演会」で、口頭・ポスター発表を行っています。なお、高橋颯太氏は同講演会で「日本機械学会 設計工学・システム部門 D&Sコンテスト優秀表彰」を受賞しています。

両名の発表後、NGP協同組合青木顧問より、岩崎及び高橋両研究員に感謝状と記念品が贈呈されました。青木顧問は「リサイクル部品活用によるCO₂排出量削減効果をより正確な数値で算出しようというこの取り組みは、内外より大きな関心を集めています。苦勞の多い研究ではありますが、皆さんの知恵結集を引き続きお貸しいただきたく思います」と、両名の功績を讃えながら激励しています。

その後同社工場で、車両のクラスとは関係

なく車種ごとにサイズや使用素材・重量が大きく異なるため、Assyの状態では新品生産時のCO₂排出量を算出できなかった、リヤコンビネーションランプ30種類とヘッドランプ2種類の分解素材調査が行われました。

強固な接着剤で各部品が組み合わされたランプ類を分解するのは困難を極めましたが、

研究会メンバー全員が力を合わせて一つひとつ丁寧に取り外し、素材ごとに重量を計測していきました。この調査で得られたランプごとの素材別重量は解析ソフトによるCO₂排出量算出のベースに用い、後日リユース時のCO₂排出量算出結果とともに研究論文として発表する予定です。



感謝状と記念品を手にする岩崎誠和研究員（中央右）と高橋颯太研究員（中央左）。左端はNGP協同組合の青木勝幸顧問、右端は同・藤田光伸技術顧問



第3期産学共同研究会工場調査のメンバー一同



リヤコンビネーションランプとヘッドランプ Assy の分解調査に取り組む研究会メンバー

NGP 今月のCO₂削減量



リサイクル部品利用に伴う削減効果

平成27年5月: **3,881t**



リターナブル梱包材利用に伴う削減効果

平成27年5月: **18.8t**

※一般社団法人 日本自動車工業会が1998年に公開している自動車LCA（ライフサイクルアセスメント）データをベースに、NGPにて1500cc車両の部品重量調査結果からCO₂削減効果参考値を算出しております。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

「第10回自動車リサイクル部品ロジスティック研究会」を開催 より安全かつ低コストなラジエーター 及びホーシングの梱包作業を検証



自動車リサイクル部品各社・団体及び運送会社などによる「自動車リサイクル部品ロジスティック研究会」(ロジ研)が、6月16日に(株)JARA本部(東京都中央区)で開催されました。

まず、前回に各社・団体が公開したフェンダー及びボンネットの梱包作業の動画について、大手運送会社が分析結果を発表しました。その報告を受け、安全性と作業性を両立させる梱包方法について再度意見が交わされました。

続いて(株)プレステックより、バックド

アの梱包方法について提案されました。バックドアはサイズが大きいため一つの段ボールだけで梱包することは難しいこと、これまでのからくり段ボールのように複雑な構造を持たせるとコスト増につながることを考慮し、段ボール箱に収まりきらない上部に対し別の段ボール箱をフタのようにかぶせる方法が紹介されました。

梱包した実物も用意され、梱包資材費、運送時の安全性、運送コストなどについて検証されました。その結果、積載効率や運びやすさに配慮して運送コストの低減を図るとも

に、梱包作業性を向上させる方法や、梱包・輸送時の破損を防ぐための工夫を今後も続けて検討していく方針が示されました。

その後、ラジエーターとホーシングの梱包作業について各社・団体が撮影した動画を視聴し、梱包資材費、梱包時間、人件費、梱包作業時及び運送時の安全性などを比較しました。運送会社からの検討結果及び意見は、次回にまとめて報告される予定です。また次回の研究会では、各社・団体が撮影したトラックパネルとリヤガラスの梱包作業の動画を確認することが決定されています。

第26回基礎研修会開催

苦難に満ちた4日間の末受講生全員が心を“揃える”

NGP協同組合の第26回基礎研修会が、6月24～27日の4日間、BumB(ぶんぶ)東京スポーツ文化館(東京都江東区)で開催されました。未成年10数名を含む若手中心ながら上は50代まで幅広い年齢層で構成された、NGP組合員各社の新入社員総勢112名が集まりました。

受講生は会場に到着した時から服装や言葉遣い、挨拶の仕方などを講師から厳しく見られ、社会人に必要な礼儀作法を徹底的に叩き込まれます。

その後受講生は8つの班に分かれ、挨拶・整列・ラジオ体操からなる団体訓練を行います。ここでは号令などのあらゆるかけ声を腹の底からグラウンド全体に響くように出し、かつ移動速度やタイミング、整列位置を各班の全員が完璧に“揃える”ことを求められます。

さらに夜からの暗記試験では、NGP三大信条やお客様第一10ヶ条ほか、与えられた課題を一字一句間違えずに斉唱しなければなりません。それが達成され、連帯責任の「NGPの絆」を全員が体得するまで、例え何時間、何日、何百回でも続けられます。

今回はすぐに意識を変え覚悟をもって講習に臨むことができた受講生が決して多くはなく、各訓練及び試験を終了するまでに多くの時間を要しました。しかしながら3日の午後からはようやく覚悟を決め一致団結して試験に臨み、最終的に全員合格することができました。

修了式で挨拶した長谷川利彦理事長は、「NGPの研修はハードだとよく言われますが、それを守り続けているのは全組合員、全商品の品質を担保するためです。現場では一つでもクレームを発生させれば即座に信用を失います。またコストを下げお客様に喜んでいただける商品を作るにはスピードも重要で、決められた時間内に作業を終わらせることは大きなスキルとなります。会社に帰っても研修で得たことを活かして行動して下さい」と、今後の心構えを受講生に熱く語りました。

(株)ピークルの大岩直史さんは「NGPの原点が集約された4日間でした。最初はなぜ研修に来てしまったのか、不合格でも構わないと弱音を吐くこともありましたが、それは自分勝手であり、班に迷惑がかり、それが



気温も湿度も高い悪条件の中、真剣に全体挨拶訓練に臨む受講生たち



開会式で受講生を激励する小林信夫副理事長



修了式で基礎研修会の意義を説く長谷川利彦理事長

全体の責任にもなると感じ、本気で臨む気持ちが高まりました。研修で学んだこと、気持ちを忘れず、これからの仕事を頑張っていきます」と、何事にも本気で臨むことの大切さを学んでいました。

そして、「目の前に高い壁が立ちほだかっても全力でぶつかっていく」((株)吉田商会・樋口光樹さん)、「自分の限界を勝手に決めず、諦めず、何事にも真剣に取り組む」((有)しのぶや・月井早香さん)と、今後のNGPマンとしての人生に向けた決意を表明しています。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
http://www.ngp.co.jp/